

東京都の高等学校授業料実質無償化にともなうアンケート

実施期間 : 2024年9月1日～10月6日

実施主体 : 一般社団法人かながわ民間教育協会 ホームページ

【アンケート内容】

「東京都の高校授業料実質無償化」にたいするアンケートにお答えください。

東京都が、今年度（2024年度）から高校授業料の実質無償化を実施しました。これまであった支援の所得制限を撤廃し、親の経済状況にかかわらず、授業料を言葉で「タダ」になりました。しかし、神奈川県は他県と比べまだまだなりません。あなたの「授業料実質無償化」に対する考え方を下記の項目の当てはまる番号に○をしてください。（複数回答可）

※ そう思う そうは思わない どちらでも無い のいずれかに○をしてください。

- 1 親の所得に関係なく、平等に教育を受けられるのは良いことだ。
- 2 神奈川県でも追随して新しい施策などができると、地域活性につなげられる。
- 3 高校無償化によって、勉強もせず、目的も持たずに進学する子がさらに増えるかもしれない。頑張らなくても何とかなってしまう状況を後押しすることになりかねない。
- 4 東京都の無償化は東京に住む生徒は、都内の私立学校だけでなく、神奈川県や埼玉県など、隣県の私立高校で学ぶ場合も無償化の対象となります。一方で神奈川に住む生徒が通う場合は、対象とはならないため不公平だと思う。
- 5 神奈川の私立学校では、クラスの3分の1が東京都から来ているというケースもあり、同じクラスの中で支援のあり方が違うということが起きる。こういったおかしなところを国がしっかりと話しあってもらいたい。
- 6 このような格差が生じないように、国の責任と財源で必要な措置を講じることが必要だ。
- 7 自治体間の税源の偏りを抑える地方税の仕組みを見直してほしい。
- 8 私立学校に通う児童生徒の保護者負担を軽減し、私立学校の教育条件を向上させ、すべての子どもたちの学ぶ権利を保障するため、私学助成をいっそう拡充して欲しい。
- 9 その他ご意見があれば自由にお書き下さい。

(

)

お名前（生徒名でも可）

お住まい： 神奈川県 東京都 その他の県

東京都の授業料実質無償化アンケート

アンケート回答数（無回答、一部のみ回答を含む）

有効回答数

220

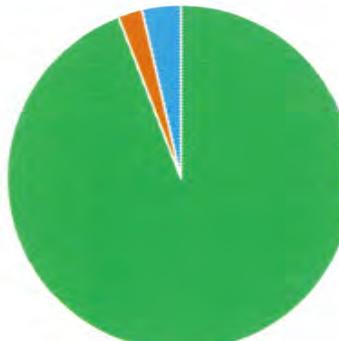
東京都が、今年度（2024年度）から授業料の実質無償化を実施しました。これまであった支援の所得制限を撤廃し、親の経済状況にかかわらず、授業料を言わば「タダ」にしました。

しかし、神奈川県は他県と比べまだまだたりません。

あなたの「授業料実質無償化」に対する考え方を下記の項目の当てはまる番号に○をしてください。

1 親の所得に関係なく、平等に教育を受けられるのは良いことだ。

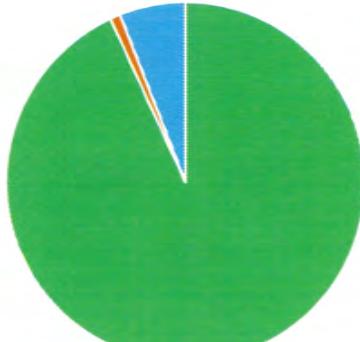
- | | |
|-----------|-----|
| 1 そう思う | 207 |
| 2 そうは思わない | 5 |
| 3 どちらでも無い | 8 |



* そう思う * そうは思わない * どちらでも無い

2 神奈川でも追随して新たな政策などができると、地域活性化につなげられる。

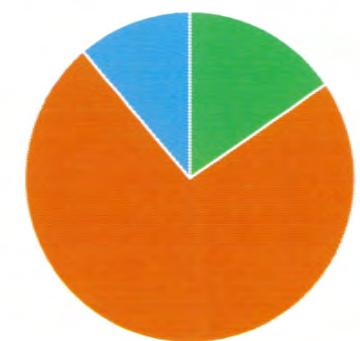
1 そう思う	204
2 そうは思わない	2
3 どちらでも無い	13



● そう思う ● そうは思わない ● どちらでも無い

3 高校無償化によって、勉強もせず、目的も持たずに進学する子がさらに増えるかもしれない。頑張らなくても何とかなってしまう状況を後押しすることになりかねない

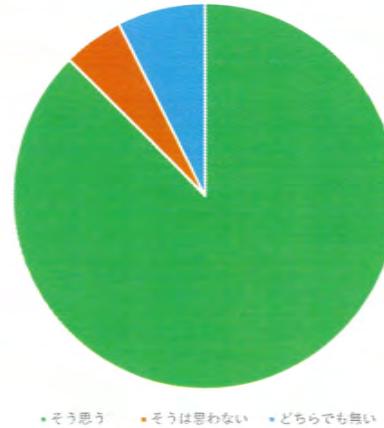
1 そう思う	33
2 そうは思わない	157
3 どちらでも無い	24



● そう思う ● そうは思わない ● どちらでも無い

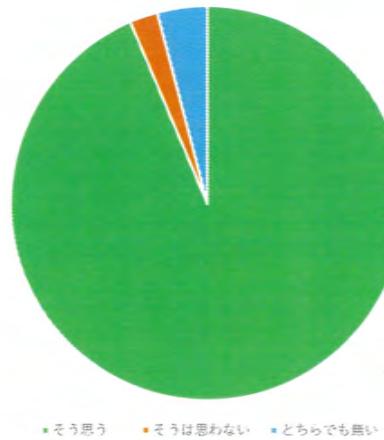
4 東京都の無償化は東京に住む生徒は、都内の私立学校だけでなく、神奈川県や埼玉県など、隣県の私立高校で学ぶ場合も無償化の対象となります。一方で神奈川に住む生徒が通う場合は、対象とはならないため不公平

1 そう思う	189
2 そうは思わない	11
3 どちらでも無い	16



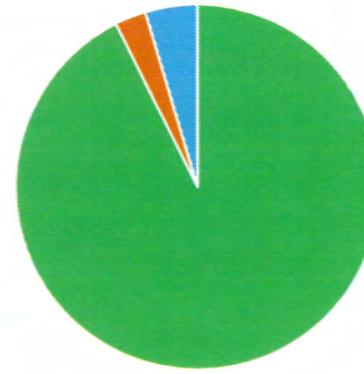
5 神奈川の私立学校では、クラスの3分の1が東京都から来ているというケースもあり、同じクラスの中で支援のあり方が違うということが起きる。こういったおかしなところを国がしっかりと話しあってもらいたい。

1 そう思う	204
2 そうは思わない	5
3 どちらでも無い	9



6 このような格差が生じないように、国の責任と財源で必要な措置を講じることが必要だ

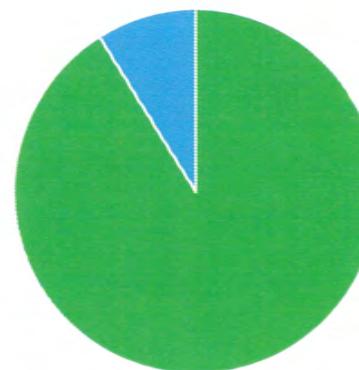
1 そう思う	200
2 そうは思わない	6
3 どちらでも無い	10



■ そう思う ■ そうは思わない ■ どちらでも無い

7 自治体間の税源の偏りを抑える地方税の仕組みを見直してほしい

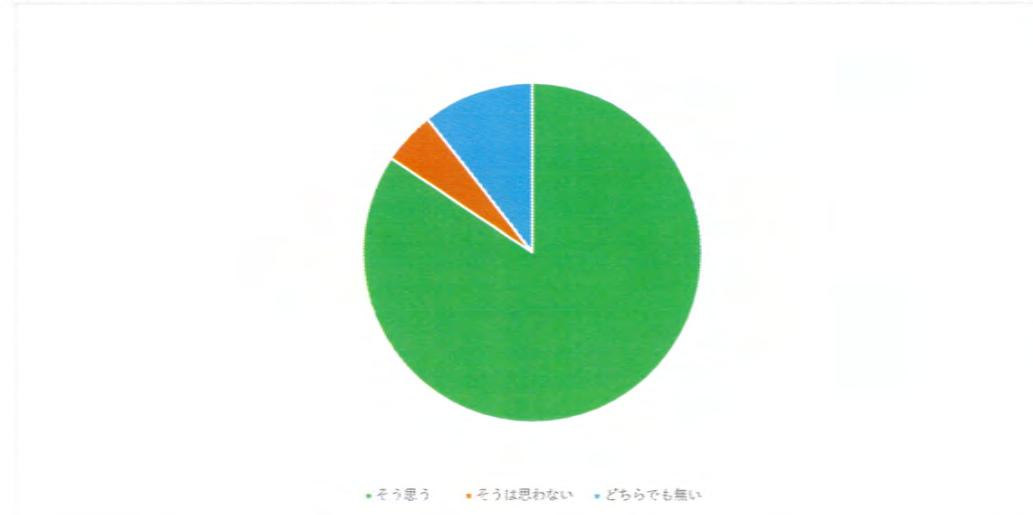
1 そう思う	195
2 そうは思わない	0
3 どちらでも無い	19



■ そう思う ■ そうは思わない ■ どちらでも無い

8 私立学校に通う児童生徒の保護者負担を軽減し、私立学校の教育条件を向上させ、すべての子どもたちの学ぶ権利を保障するため、私学助成をいっそう拡充して欲しい。

1 そう思う	183
2 そうは思わない	11
3 どちらでも無い	23



9 その他ご意見があれば自由おかきください。

1) 1、3、8の設問は YES か NO で簡単には答えられないため、どちらでも無いにしています。

ヨーロッパの幾つかの国では国内の学校であれば大学まで留学生でも無償で、ゆくゆくは国を活性化していく人材に育っていると聞いたことがある。日本でも国が主体となって自先の給付金ばかりではなく教育に対する無償化を進めてほしい。

2) アメリカの中學に 3 年間子供が通っていたが、まず日本の高校入試を受けないと高校に進学出来ないシステム自体が、伸び伸びとした中学校生活と精神を養う妨げになると感じる。私学は、本当は無償化でなくても良いと思うが、東京だけ先に…など既に実施しているのであれば神奈川や他の県も同等にすべきだとは思う。

3) あらゆる所得制限をなくし、子どもの人数も関係なく平等にしてほしい

4) たとえ収入が所得制限を超えていたとしても複数子どもを養育している場合は所得制限を超えていない家庭と比べてゆとりがある訳ではない。むしろ、私学に通わせることは出来ないとあきらめている現状がある。第 3 子以降は以前と比べて補助が大きくなることは大変評価しているし、ありがたいと感じる。ただ、子どもの年齢差によって対象になったりならなかったりすることには不公平感は感じる。

5) 各自治体の問題・課題であるのは理解しているが、実際に直面すると非常に不公平に感じている。

6) 経済的格差が更に増加するのがわかりながら、地区によって未来の子供達の学業においても格差が生じる現実に対して国として向き合うべきだと思う。

7) 現高 3 の息子は神奈川から都内私立高校へ通学しています。同級生は無償化対象の中、息子は学費を全額支払っているため、家計への負担や不公平感を感じています。

8) 高校一年生の息子はやりたい事があり東京都の高校へ通わせて頂いております。やはり助成があるのとのでは違うので神奈川県から東京都への新型やら、神奈川県でも所得制限が東京都と同じようになると助かります。

9) 子どもをささえるとえいう事を、国をあげて取り組んでもらいたいと思います。これから子どもを出産する方が安心して子育て出来ることが一番大事だと思います。

- 10) 私立の無償化をする財源があるのならば、都立高校の設備の充実をしてあげて欲しい。自分自身は都立高校出身なので、母校が廃れていくのはつらい。上の子供の私立高校の学費は支払うのが当然と思って支払っているが、隣県と差が出るのはおかしいと感じている。
- 11) 私立は施設も充実しているため、無償化があると子供にも第一志望として進める事ができる。神奈川では県内のみなため、範囲も狭く無償化ではなく少ない給付のみ。近隣で差が出るのは疑問。子供には学ぶ権利もあるため国でもしっかり対応して欲しいし、一都三県は近隣であるため足並みを揃えて欲しい。
- 12) 自分の子供に合った中高一貫校を選びたいです。
- 13) 実際、兄が東京の学校に通っていて授業料無償化の恩恵を受けられていないので、ちょっと不条理に感じる。
- 14) 首都圏で教育環境格差が広がってしまう。どの地域に住んでいても、子供達が公平な教育環境を得られる制度を早急に作ってほしい。
- 15) 授業料の負担が可能な私立志願者と、負担が不可能な公立志願者の選別が出来ていた従来の制度が妥当だと思う。私学が無償化だと、公立と何が違うのか、私学まで助成金を出す財源があるなら、幅広く公立小中高校の存続に回すのが筋だと思う。私学はあくまでも経営手腕が問われる営利団体だとも思う。
- 16) 神奈川県の高校授業料実質無料化は必須だと思います。私立中学校の授業料無料化も強くお願ひいたします。
- 17) 神奈川県もそうしてほしい。
- 18) 神奈川県も絶対に高校授業料を無償化にすべきである。不公平にも程がある。それ以外にも神奈川は図書館等の子ども達や学生等落ち着いて勉強できる場所がとても少なくて設備が足りていない。無駄な財政を使わずに早急に授業料無償化にすべきである。
- 19) 神奈川県も無償化お願いします。

20) 神奈川県在住です。本来義務教育の中学校であるのに、私立高校にあって私立中学校には学費支援がないと聞きました。ふに落ちません。

また、私立高等学校等学費支援も世帯収入の max が 910 万未満では、女性の社会進出の妨げになるのと同時に、我が子に質の高い教育をと願い学費の為に外に働きに行ったが故に年収目安に引っかかっては、いっこう改革は進まない。親の収入による教育格差をなくすなら、その背景にある大多数の中間所得層のリアルな声に耳を傾け、視野を広く俯瞰してとらえる視点と洞察力、ばらはらなものをひとつにまとめあげる政策であってほしいものです。たとえば、世帯収入の上限の見直しを。

21) 神奈川県民です。本人の希望や通学できる範囲であっても、県外の私学助成は県内の助成よりも減ってしまう。

都内の私学を検討もしているが、心のどこかで『都内の子は無償なんだなあ…』と親自身が思ってしまうので、子供の選択肢の幅を狭めてしまっていると思う。神奈川も早く東京や大阪と同じようにしてもらいたい。

22) 早急に国、他県も無料化すべき。子育て世代の親の負担が、消費へと流動すれば、結果国や自治体が税収で潤う事となる。経済の中心となっている子育て世代のお金を循環させるべき。

23) 都、県ではなく国が全部の高校を無償化にするべき。住んでる場所で学歴格差が起きるから。

24) 都民としては有難い話です

25) 東京都の高校授業料実質無償化によって、東京から人口の流出が抑えられていそうだが、むしろ東京一極集中が進んでしまうかもしれないと思う。

26) 東京都の高校授業料無償化の為、引越しも真剣に考える必要がある。

27) 無償化になった以上、公立高校の設備や仕組みも向上すべきだと思う。

(原文ママ)